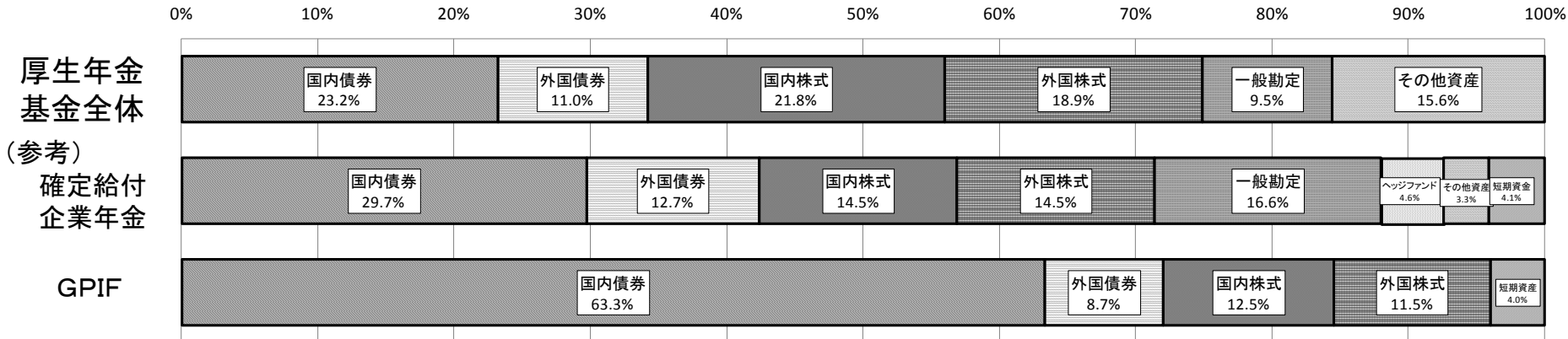


(参考) 厚生年金基金の資産運用について

厚生年金基金の資産運用は、加入員等の受給権を保護し、また、基金が公的年金の一部を代行していることを踏まえ、リスク管理に重点を置きつつ、安全かつ効率的に行っていくことが必要であり、基本的に「外部積立」による「分散投資」と「長期的な基本ポートフォリオ(政策的資産構成割合)の策定・管理」に基づいた運用が求められている。

1. 厚生年金基金等の資産構成割合



(注) 厚生年金基金全体は「厚生年金基金資産運用業務報告書(平成23年度)」、確定給付企業年金は「新しい企業年金基礎資料 平成24年12月(企業年金連合会)」、GPIFは「平成23年度業務概況書(年金積立金管理運用独立行政法人)」の数値によるもの。

(注) 確定給付企業年金の「その他資産」は、不動産・プライベートエクイティ等である。

2. 厚生年金基金等の運用利回り

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
厚生年金基金全体	-12.03%	-19.81%	15.48%	-1.00%	1.33%
(参考)確定給付企業年金	-9.10%	-15.81%	13.23%	-0.17%	2.18%
(参考)GPIF	-4.59%	-7.57%	7.91%	-0.25%	2.32%

(注) 厚生年金基金全体、確定給付企業年金は「新しい企業年金基礎資料 平成24年12月(企業年金連合会)」、GPIFは「平成23年度業務概況書(年金積立金管理運用独立行政法人)」の数値によるもの。

(注) 各年度末による修正総合利回りである。